

# 多様な担い手の就農支援

関係機関による恵那地域就農連絡会議を企画開催し、新規就農者及び就農希望者等の情報共有、並びに支援方策を検討している。一方、農業者らで構成される指導農業士東濃ブロック連絡協議会では、農業大学校等での出前講座を開催し、新規就農者の掘り起しに取り組まれている。

産地あるいは地域農業の維持、そして活性化に向け、品目や地域を問わず、生産者確保が重要課題となっている。

## 活動内容

### 1 就農支援体制の強化

- ・恵那地域就農連絡会議を企画開催し、新規就農者確保や就農後の経営安定に向けた支援を行う。

### 2 将来の担い手候補者育成

- ・指導農業士と連携して、農業大学校等での出前講座を開催し、担い手候補者あるいは新規就農者の育成を実施する。

### 3 新規生産者の掘り起し

- ・就農フェア等での勧誘、就農希望者への相談助言により、新規生産者の掘り起しを行った。



就農フェア(アグリチャレンジフェア)での相談状況

## 成果

### 1 就農支援体制の強化

- ・就農連絡会議を企画し、7月と12月に開催し、3月にも開催を予定している。会議では就農者等の情報共有とともに、関係機関による就農支援活動方策を検討している。

### 2 将来の担い手候補者育成

- ・農業大学校、恵那農業高校、阿木高校の各校生徒に対し、指導農業士による講義や意見交換、更には農場視察や実習等の受入をおこなった。令和7年度卒業生2名が恵那管内農業法人に就職する見通しである。

### 3 新規生産者の掘り起し

- ・アグリチャレンジフェアで来場者への声掛けにより、4名の相談者を確保し、うち2名が恵那地域に就農することとなった。また、9月末時点で、11名の就農相談に対応し、助言指導している。